

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		商工業振興事業		コード		04210100-0101	
中事業名		商工業振興事業		計画区分		①②	
担当部等		産業政策部		担当課等		産業振興課	
総合計画		コード	名 称	予算科目		コード	名 称
	基本目標	04	産業の魅力を高める		会計	1	一般会計
	基本施策	21	商工業の振興		款	07	商工費
	主要施策	01	持続的に発展する経営と事業継続の支援		項	01	商工費
					目	02	商工振興費
					大	01	商工業振興事業
					中	01	商工業振興事業
	根拠法令・条例等						
基本計画等							

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	市内商工業者の経営安定化を図れるよう、商工会による経営改善普及事業及び地域活性化につながるイベント事業に要する経費を助成する。また、企業立地推進事業として、愛知県、会員54市町村、名古屋港湾管理組合、県内22商工会議所、企業など官民の連携を図りながら事業の推進に努める。さらに、企業再投資促進事業として、市内に立地する企業の再投資を補助し、地域の経済・雇用を支えている企業を支援する。
対象	市及び商工会が行う事務
意図（目的）	市及び商工会が連携して業務にあたり、効率化及び経費の削減を図る。
手段	商工会、中小企業及び個人事業主への各種補助、愛知県産業立地推進協議会及び愛知県中小企業団体中央会への参加

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			180, 661	194, 985	172, 998	300, 093	201, 229	212, 069	177, 230
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	25, 451	0	0	0
		県支出金	750	13, 986	450	14, 000	10, 750	5, 784	750
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	120, 000	120, 755	120, 000	120, 000	120, 000	120, 000	120, 000
	一般財源		59, 911	60, 244	52, 548	140, 642	70, 479	86, 285	56, 480
人件費	正規職員	業務量		0. 00 人		0. 00 人		2. 28 人	0. 00 人
		人件費		0. 00		0. 00		14, 770. 00	0. 00
	会計年度任用職員	業務量		0. 00 人		0. 00 人		0. 00 人	0. 00 人
		人件費		0. 00		0. 00		0. 00	0. 00
総事業費（千円）				194, 985		300, 093		226, 839	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	商工会が実施するプレミアム食事券発行事業に補助金を交付する他、令和4年4月1日に制定・施行した「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向けた検討を行う。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向けて、商工会内に関係機関参加による協議機関を設置し検討を行う。
令和 4年度に 取り組んだこと	市内中小企業者の経営安定化のため、商工会による経営改善普及事業やプレミアム食事券発行事業等への補助金の交付、振興資金融資や信用保証料助成、キャッシュレス決済ポイント還元事業や小規模活性化補助金の交付を実施した。
成果	各種経営支援事業の実施により、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響下にありながら、商工会加入率を向上させることができた。
課題	新型コロナウイルス感染症による影響の長期化や物価高騰などにより、今後も市内中小企業者への経営支援や適切な情報提供に資する事業の実施が求められる。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	新型コロナウイルス感染症や物価高騰が市内中小企業者の経営に与える影響は、今後も続くことが懸念されることから、適時適切な経営支援策を講じていく。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		令和4年4月1日に制定・施行した「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向け、引き続き検討を行う。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向けて、商工会内に設置した関係機関参加による協議機関において検討を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	経営指導員による相談・指導回数					単位	回
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,500.00	1,040.00	1,500.00	1,009.00	1,500.00	880.00	1,500.00

【アウトカム指標】

指標名	商工会加入率					単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	60.00	54.60	60.00	56.60	60.00	58.00	60.00
式	商工会加入事業所数/商工事業者数（出典：2016年度経済センサス）×100						
指標の狙い	アウトカム指標は60%以上の加入率を目指す。						

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		観光振興事業		コード		04220100-0101		
中事業名		観光振興事業		計画区分		①②③		
担当部等		産業政策部		担当課等		産業振興課		
総合計画		コード	名 称			コード	名 称	
	基本目標	04	産業の魅力を高める		会計	1	一般会計	
	基本施策	22	観光まちづくりの推進		款	07	商工費	
	主要施策	01	観光資源の発掘・魅力の磨き上げ		項	01	商工費	
					目	03	観光費	
					大	01	観光振興事業	
					中	01	観光振興事業	
	根拠法令・条例等							
基本計画等								

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	にっしん観光まちづくり協会の運営や、まちミル博覧会の開催及び観光による情報発信を実施する。					
対象	市及びにっしん観光まちづくり協会					
意図（目的）	「ぐるぐるN I S S H I Nまちミル博覧会」の開催、産官学連携講座の開講、各種観光資源の発掘事業や地域ブランド創出事業の実施の他、にっしん観光HP「ぐるぐるN I S S H I N」の運営による観光資源の情報発信を行い、観光入込客数の増加を図る。					
手段	観光まちづくり推進事業、観光まちづくり人材育成事業、観光関連情報の収集発信等各種事業の実施					

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			12, 915	6, 490	9, 895	8, 839	31, 207	31, 689	25, 514
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	5, 000	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	0	0	0	0	0
	一般財源		12, 914	6, 490	9, 895	8, 839	31, 207	26, 689	25, 514
人件費	正規職員	業務量		0. 00 人		0. 00 人		2. 30 人	0. 00 人
		人件費		0. 00		0. 00		14, 899. 00	0. 00
	会計年度任用職員	業務量		0. 00 人		0. 00 人		0. 00 人	0. 00 人
		人件費		0. 00		0. 00		0. 00	0. 00
総事業費（千円）				6, 490		8, 839		46, 588	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	令和 4 年 1 1 月に開園予定のジブリパークに合わせて、多くの観光客の来園が見込まれるが、隣街の本市に立ち寄り・消費行動を起こしてもらうことが新たな課題となる。より大きな経済波及効果を目指し、夜の立ち寄りも含めた「周遊型観光促進事業」の推進に力を入れる。令和 4 年度はジブリパーク開園を記念し、岩崎城でのプロジェクションマッピングを中心とした事業を推進する。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	ジブリパーク開園、令和 5 年放映「どうする家康」やその後に控えている道の駅の開駅といった新たな機会を好機と捉えて、観光振興事業を推進する。特に、ジブリパークに関しては、愛知県が非常に力を入れている事業であり、積極的に県や近隣市町とも連携していくことで、本市の活性化に繋げる。
令和 4年度に 取り組んだこと	にしん観光まちづくり協会の主催で、「ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会」を開催した。また、日進市への周遊型観光促進、地域活性化を図るため、「岩崎城天守閣プロジェクションマッピング」並びに「岩崎城特別ライトアップ」の開催や観光マップのリニューアル、市内飲食店を紹介するグルメサイト「日進で食べよう。」を開設した。
成果	「岩崎城天守閣プロジェクションマッピング」を3日間実施し15,000人近い来場者が観覧し、その前後で周辺飲食店等への来店にもつながり経済効果が生まれた。また、NHKの生中継により東海3県での日進市のPRを行うことができた。まちミル博覧会では、前年度比約1.5倍の参加があった。
課題	市外からの誘客やジブリパーク来園者を含む周遊型観光促進を図るため、まちミル博覧会をどのように実施・活性化させていくのかを模索していく必要がある。また、DMO構想実現の大きな課題となっている自主財源獲得に向けて、観光協会の事業だけでなく、道の駅やシティプロモーション等の他事業との連携・活用も含めて検討していく必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	DMO構想実現に向けて、より多くの方に日進市に訪れていただくため、まちミル博覧会をより「日進ならではの地域魅力資源を体感するプログラム」とする。また、観光振興だけでなく、「シビックプライドの醸成」及び「地域ブランドの創出」というシティプロモーション推進の目的を達成するため、市民から認知される事業となるよう育てていく。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		愛知学院大学の「第70回 愛学祭」と連携し、ジブリパーク2期エリア開園に合わせ、愛知学院大学にてプロジェクションマッピングを行うことにより、互いに事業に訪れることのない年代や地域の方への誘客を促すことが出ると考える。また、ジブリパーク来園者を含めた近隣市町からの誘客を図るため、周遊型観光促進を目的に、まちミル博覧会を「日進ならではの地域魅力資源を体感するプログラム」とした事業とする。			
今後の 方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	●拡大	○維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		ジブリパーク開園や「どうする家康」放映など、愛知県への注目度が高まっていることや、道の駅開駅等の新たな機会を好機と捉えて、観光振興事業を推進する。特にジブリパークは愛知県としても力を入れているため、積極的に連携を図り、本市の活性化につなげる。			

【アウトプット指標】

指標名	観光施設利用者数（岩崎城、愛知牧場、五色園）						単位	人
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	200,000.00	235,282.00	250,000.00	270,244.00	300,000.00	292,177.00	320,000.00	

【アウトカム指標】

指標名	対前年度比観光客数						単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	64.52	79.16	125.00	114.86	120.00	108.11	120.00	
式	今年度観光客数／前年度観光客数×100							
指標の狙い	既存の観光資源の活用により、観光客数の増員を目指すことを狙いとする。							